

ミノウスバを洲本市下加茂で目撃

ミノウスバ *Pryeria sinica* Moore は、マダラガ科に属する独特の形態をした昼飛性の蛾であるが、晩秋に発生し余り人目を引かないためか、これまで淡路島からは僅かしか記録がなく、堀田久氏(本誌 No.26, 1982)によって洲本市物部と中川原町からそれぞれ数頭が知られている程度であった。

筆者は1986年11月18日に、洲本市下加茂の柳学園高校校庭で本種を1頭目撃したので、記録しておきたい。写真撮影の後に採集するつもりであったが、残念ながら見失ってしまった。

(登 日 邦 明)

編 集 後 記

▽1966年に発足した本会も昨年で20周年を数えました。この間、多くの会員の方々から暖かい励ましとご支援をいただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

▽本号は'85年に発行を予定しておりましたが、編集子の種々な事情により大幅に遅れ、今日に至ってしまいました。早くから原稿をお寄せ下された奥谷先生はじめ会員の皆様にご迷惑をお掛けしたことを、深くお詫びします。

▽淡路島の自然は近年、本四連絡橋・大鳴門橋の開通、縦貫道路の建設・一部開通、洲本市炬口海岸の埋立計画、洲本市内田をはじめとする関西新空港の土取り計画等々でまさに蚕食状態であり、島の未来、そして私達の未来についても深く考えさせられるこの頃です。

▽何かと慌ただしい世の中ですが、時の流れに流されてしまわないよう心して、これからも地道に虫達をはじめ島の自然を記録して行きたいと思っております。今後共ご支援ご協力をお願いします。(T)

PARNASSIUS No. 32

1987年4月3日 印刷

1987年4月6日 発行

編集者 登日邦明

発行所 淡路昆虫研究会

〒656-21 兵庫県津名郡津名町大町畑235 登日方

郵便振替 神戸7-49591

印刷所 れいめい社

〒656 兵庫県洲本市本町5丁目1-24